

# 一般財団法人 江戸東京歴史文化ルネッサンス

## これまでの歩みから現在に至るまで

2004年（平成16年）12月、市民団体「江戸城再建を目指す会」を創立しました。世論喚起の運動を進め9年を経た平成25年度から権威ある第三者機関により天守再建の事業検証を開始し、2014年には**NPO法人の法人格での天守再建は不可能に近いとの結論に達しました**。その結論を受けて、2015年、2016年の2年度に亘り、前述の認定NPO法人の通常総会並びに理事会において、皇居東御苑での事業主体として、一般財団法人を設立し公益財団法人を目指すことを決議しました。

これまでの経緯をふまえ、12年の運動の集大成とし、**平成2017年1月**、前述のNPO法人理事長小竹直隆を始めとするNPO法人役員等により、清々肅々として一般財団法人を設立しました。

一方、この間、世界の首都は、歴史と伝統・文化による国際間競争の激化時代を迎えていました。特に、インバウンドの急増や世界遺産ブーム、2018年文化財保護法等の改定等、また、国連は、持続可能な開発目標（SDGs）への観光と文化の貢献を強化するなど、文化観光立国を取り巻く内外の環境は、著しく変化を続けています。

以上の観点から新たな事業構想、即ち**旧江戸城及び城下町の全体整備構想を視野に入れた初の本格的な学術・調査、研究が必須であると認識し**、2017年10月のVISIONに続き2018年7月には「江戸東京歴史文化ルネッサンス5カ年基本計画（案）」を策定、11月には初の本格的な学術・調査研究を開始すると共に準備会議を設置しました。

**理事長特別メッセージ「特別史跡・江戸城跡における歴史建造物の復元のあり方について」**をご参照ください。

旧江戸城及びその城下町等の歴史文化遺産の文化的価値を活かした、まちづくりについて調査研究し、その成果及び今日的意義を普及・啓発・提言することにより、我が国の文化及び芸術の振興並びに持続可能な歴史文化まちづくりの形成及び発展に寄与することを、目的として下記10、「江戸東京歴史文化ルネッサンス5カ年基本計画（案）」を推進しております。

\*\*\*

1. 平成16年（2004年）：  
市民団体「江戸城再建を目指す会」を創立（理事長 小竹直隆）
2. 平成18年（2006年）：  
東京都の認証を得て、NPO法人「江戸城再建を目指す会」設立を登記
3. 平成23年（2011年）：  
認定NPO法人の「認定資格」取得
4. 平成25年（2013年）平成26年（2014年）：  
認定NPO法人総会決議：新事業主体設立に向けた事業検証を開始（権威ある第三者機関に委託）  
**皇居東御苑での天守再建はNPO法人では不可能に近いと結論に達す**（事業構想・事業スキームの検討）
5. 平成27年（2015年）：  
皇居東御苑での再建事業は公益財団法人を目指すことを認定NPO法人総会決議
6. 平成28年（2016年）3月：認定NPO法人総会決議  
下記①②をNPO12年の集大成とし出来るだけ早い段階で一般財団法人の設立し公益法人を目指すことを決議  
①5月「江戸城天守復元調査研究報告書の完成」②11月「天守再建と歴史文化ランドデザイン基本構想」策定
7. 平成29年（2017年）1月：  
**一般財団法人「江戸城天守再建・歴史文化まちづくりルネッサンスの会」を設立（代表理事 小竹直隆）**
8. 平成29年度（2017年）3月：下記\*をNPO法人総会で決議  
\*一般財団法人の設立報告、 \*上記6の①②を事業主体である一般財団法人に「提言」
9. **平成29年（2017年）10月：江戸城及び城下町の全体整備構想の策定を目指す**  
「江戸東京歴史文化ルネッサンス ビジョン5カ年基本計画（案）」
10. 平成30年（2018年）7月：学術・調査、研究及び成果や今日的意義を普及・啓発及び提言を行う事業  
「江戸東京歴史文化ルネッサンス5カ年基本計画（案）」策定と11月、**初の本格的な学術・調査、研究スタート**
11. 平成31年（2019年）3月：**近未来の世界遺産**を目指し、SDGs持続可能な観光と文化を目指す  
**「歴史まちづくり法」**により「江戸東京歴史文化ルネッサンス5カ年基本計画（案）」を検証
12. 令和元年（2019年）5月：**理事長特別メッセージを発表**  
**特別史跡・江戸城跡における歴史建造物の復元のあり方について**
13. 令和元年（2019年）9月：  
法人名称変更：「江戸東京歴史文化ルネッサンス」
14. 令和元年（2019年）10月：調査・研究の基礎調査終了  
**「事業概要書」を発表**

以上